

創立 20 周年を迎えて

私たちの兵庫県立西宮香風高等学校は、平成 13 年 4 月 1 日、兵庫県で初めての多部制単位制高等学校として誕生し、今年で創立 20 周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大のために、いくつもの行事が中止、延期される中、部ごとに分かれてではありますが、20 周年の節目の年を生徒の皆さんと共に祝うことができたことを心から喜びたいと思います。

開校当時、多部制単位制高等学校は全国的に見てもめずらしいものでした。単位制高等学校は、弾力的な教育システムを活用することにより、生徒の幅広いニーズに応える多様な履修形態を可能にするとともに、生涯学習の観点から、誰でも、いつでも、必要に応じて高等学校教育が受けられる学校として、制度化されてきました。本県においても、これらの学習ニーズに応えるために、1 部、2 部、3 部の多部で構成される新しい単位制高等学校として、西宮の地に本校が設置されることになりました。現在では、働きながら学ぶ生徒はもとより、全日制高等学校から転入・編入して学び直しを希望する生徒、自分のペースでじっくりと学びたいと思う生徒の入学が増加しています。

また、本校は平成 26 年度から 4 年間、文部科学省の指定を受けて、「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育」の実践研究を行ない、平成 30 年度に「高等学校における通級による指導」が制度化されると、県の指定を受け、引き続き実践研究を行なっています。現在、7 年目となる研究の成果は、全ての生徒の個性を引き出し、夢に向かって一步踏み出すことを応援

する校内体制へと結実しています。

このように、創立以来、進取の精神を以て、時代を切り拓いてきた本校は、生徒、保護者、県民の皆様から必要とされる学校へと、さらに成長、発展を遂げていかなければならないと、創立 20 周年の節目にあたり、決意を新たにしています。西宮香風高等学校が「多様性」を大切にする学校であることは、よく知られています。しかし、これからは、「多様性がある」というだけでは十分ではなく、「多様性の先にある新しい価値や行動」を、学校生活の中から生み出していくことが、共生社会を担う人材育成をめざす本校の使命であると考えます。生徒の皆さんが多様性を大切にする本校で学んだことを糧に、自分の生き方を自分で選び、未来への道を自ら切り拓く人生を歩んで欲しいと教職員一同は願っています。

結びにあたり、残念ながら本日はご来賓としてお招きすることが叶いませんでしたが、創立以来、本校の発展に多大なご尽力を賜りました地域の皆様をはじめ、PTA、兵庫県教育委員会、歴代校長、教職員、並びに関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、本校の教育活動にいっそうのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、あいさつといたします。

令和 2 年 11 月 6 日

兵庫県立西宮香風高等学校

校 長 石 川 照 子